

## 令和 4 年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和 5 年 1 月 17 日  
江別市立江別太小学校

### 1 本年度の重点目標

「できた！わかった！やるぞ！笑顔の輪」（検証と改善）

### 2 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
経営方針の重点	①カリキュラムの弾力的な運用（評価・改善）	A	◎長期休業等を利用しカリキュラム改善状況を記録化する。 ◎ICTを活用したカリキュラムの管理	A	A
	②新生活様式の定着と規範意識・思いやりを育む教育	B	◎引き続き重点目標をキャッチフレーズ化し、児童会活動を軸に、意欲的かつ思いやりをもって生活できるようにする。 ◎引き続き新しい生活様式にあった環境整備の推進 ◎思いやりの心を育むための行事等の積極的な取組	A	A
	③特別な支援を要する子供の実態把握に基づく手立ての工夫	B	◎コーディネーターを中心に引き続き組織的できめ細やかな対応を進める。 ◎外部との連携も図り、支援に関しても個別最適化を進める。	A	A
	④日常の授業（ICT）に直結する校内研修の推進	B	◎ICTの活用により、個別最適な学びの実現と働き方改革の実現が進むことを啓発し、更なる推進を図る。 ◎ICTを活用しながら授業も改善できるような研修の実施	A	A
	⑤生きる力に基盤となる健やかな体をはぐくむ活動の工夫	B	◎保体部で提供された具体的な体力作り等の資料を活用し、その効果を検証しながら今後の体づくりに活用していく。 ◎限られた時間（朝や体育の時間）ではあるが子供たちの意欲を高め、実際に体力アップとなるような取組の推進	A	A
教育課程・学習指導	①わかるまで・できるまで学び続ける子（進んで読書含む）	B	◎子供たちの意欲を結果に結びつけることができるよう、授業改善を進めると共に、タブレットを活用した個別最適な学びの実現を目指す。 ◎支持的風土の中、安心して学校生活を送り、ともに成長し合おうとする態度の育成を図る。	A	A

生徒指導	①他と協働的に関わり、いじめを根絶する取組	B	◎引き続きいじめはしない・ゆるさないが100%となるよう、通年で心の教育を充実させる。 ◎コロナ禍ではあるが、できる限り交流の機会を増やし、自己肯定感や自己有用感を高める活動を進める。	A	B
	②きまりを守り、粘り強く最後までやり抜く	B	◎生活リズムの向上は家庭と連携して進める。特にゲームの時間を守るように児童の自律を促す。 ◎日々の指導と道徳科等の指導で子供たちの規範意識を高めていく。	A	A
その他	①学校と家庭の連携(安全安心、情報発信、家庭学習、手伝い等)	B	◎引き続き情報発信のデジタル化を進めるが、紙での情報発信も合わせ、ハイブリッドに進める。 ◎家庭学習や家庭での仕事は、長期休業を活用して推進、休業終了後も引き続き行っていけるよう啓発する。	A	A
	②働き方改革	C	◎引き続き設定した目標を目指した働き方改革の取組を進める。 ◎仕事量の分散や業務の効率化、削減のために職員からの意見を聞き、連絡調整会議等で整理に当たる。	B	B

### 【評価項目の設定、達成状況及び改善の方策に関する学校関係者評価委員の意見】

#### (1) 経営の重点

- ・コロナ禍で制約のある中、マンネリ化した行事を見直すきっかけになったのではないかな。
- ・タブレットを使って、やむを得ず登校できない児童も授業に参加できてよかった。
- ・体力の低下はコロナの影響が大きく心配である。

#### (2) 教育課程・学習指導

- ・読み聞かせをテレビ放送という形でできた。直接子供たちの様子は分からなかったが、楽しみにしている子が多いので今後も読み聞かせの活動を続けていきたい。
- ・学校での子どもたちの頑張りを親にも分かるよう先生方に伝えてほしい。

#### (3) 生徒指導

- ・いじめはふざけの度合いが問題となる。相手が嫌がるふざけはダメだということをしっかり学ばせてほしい。
- ・語彙能力を上げ、相手にうまく伝わる言い方ができるようにする必要がある。
- ・動画の影響で不適切な言葉が広がってしまい、きれいな言葉を学ぶ機会が少ないのではないかなと思うので、日常的に相手を思いやる言葉を広めてほしい。

#### (4) その他

- ・日常的にタブレットを使った家庭学習もできるようになるとよい。
- ・先生達に余裕をもたせて、子供とのふれあいを大切にできるようにしてほしいと同時に、色々と学びながら意欲的に業務を進めてほしい。
- ・業務を分担して軽減できるように改革を進めてほしい。

【評点】 A：よい B：おおむねよい C：ややよくない D：よくない